

具体化へ高まる期待

工事進む都市軸道路

千葉北西連絡道路

道路問題
千葉北西連絡道路
 浜田議員 千葉北西連絡道路について、国道16号の建設を初期から見えてきた者として取り上げたい。

地権者の理解と協力の下に国道16号は、千葉県発展に大きく寄与してきたが、柏市付近の調査でも交通容量を大幅に超え、大型車の混入率も国道平均を大きく上回って、交通渋滞には著しいものがある。

このことから、令和2年、

関係自治体による「千葉北西連絡道路検討会」を立ち上げ、先般、基本方針の骨子案が検討された。その中で、東は千葉市、西は大宮の核都市をつなぐ広域幹線道路の機能を持たせることが打ち出されるなど、将来構想と計画の具体化へ向けた熟度が高まった感がある。

計画具体化への取組
 そこで何うが、千葉北西連絡道路について、計画の具体化に向け、どのように取り組んで行くのか。



自席から再質問する浜田議員

公立中学校部活動への社会人活用
 浜田議員 公立中学校の運動部活動の社会人活用について、現状と今後の見通しや取組はどうか。

教育長 教員の働き方改革として期待されている休日の部活動の地域移行を推進するためには、教員に代わる指導者として社会人活用を進める必要があり、千葉県スポーツ協会等と連携し人材バンク作りに

公立中学校の運動部活動 期待される社会人活用

着手しています。

さらに今後は、外部指導者の方と学校をつなぐコーディネーターの配置や、指導者の質を確保するための研修会等が必要になってくることから、市町村の取組を支援し、地域における社会人活用が円滑に進むよう努めてまいります。

要望
部活動の地域移行が円滑に進み千葉県の中学生が思う存分部活動に取り組める体制構築を要望する。

県土整備部長

千葉北西連絡道路は、環状道路である国道16号の交通円滑化や災害対応などに寄与する重要な道路です。

本年8月には、検討会が開催され、期待される効果として、輸送効率の向上などが確認されたほか、道路計画の基本方針の骨子がまとめられたところです。

県としては、早期に基本方針が策定されるよう国に協力するとともに、計画の早期具体化に向けて、国、沿線市と連携し、計画の概要や必要性等について広報活動を実施するなど、積極的に取り組んでまいります。

都市軸道路の建設推進
 浜田議員 埼玉三郷市の東京外郭環状道路から、千葉県流山市、柏市西部と

開通待たれる柏都市計画道路
 柏都市計画道路箕輪・青葉台線は、平成17年に柏市と沼南町が合併した際に、建設計画の中に盛り込まれ、柏市南部地域と旧沼南町大津ヶ丘地域を一体化させるための幹線道路である。柏市の南部地域は、狭隘で曲折する道路網の地域で、緊急自動車の

運行にも困難を来している。更に、旧沼南センター地区では46軒余りの区画整理が完工し、通勤や買物客で交通渋滞が増えている。

箕輪・青葉台線の進捗
 一日も早い開通が望まれる都市計画道路箕輪・青葉台線の進捗状況はどうか。

県土整備部長 この道路は、柏市南部地域を東西に

利根川渡河部の橋整備を早めるため、関係5市で「都市軸道路整備促進期成同盟会」を発足させ、両県に対し陳情活動を重ねている。

また、渡河部の整備について茨城県と協議を始めたという。

利根川渡河部の現況
 そこで何うが、都市軸道路の利根川渡河部について、検討状況はどうか。

県土整備部長 都市軸道路は、埼玉県と茨城県を結ぶ広域的な幹線道路である。

更に守谷市と柏市を結ぶ

横断する重要な幹線道路であり、柏市大津ヶ丘から増尾までの0・8km区間で事業を実施しています。

現在、用地取得率は約5割であり、今年度は、またまた用地の確保ができた箇所、農業用の用排水路をつけかえる工事を進め、大津川を跨ぐ橋梁の詳細設計などを実施する予定です。

このうち、利根川渡河部については、茨城県と整備に向けて意見交換を行っており、今年度、橋梁予備設計を実施してまいります。

引き続き、早期に事業化が図られるよう、茨城県と連携し、積極的に取り組んでまいります。

区画整理地内の進捗
 浜田議員 柏市では、国道16号と交差するアンダーパスの整備が進められている。そこで何うが、柏北部中央地区土地区画整理事業地内の都市軸道路について、進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 事業地内の延長約2・9kmのうち、国道16号から南側の区間については、全線約2・2kmで、一部暫定を含め供用開始しているところです。

また、最も工期を要する国道16号直下のアンダーパスについては、今年度内の完

備蓄食品の保管

災害備蓄物資の保管状況
 浜田議員 令和元年の台風15号等による大災害を教訓に、千葉県地域防災計画もきめ細かく見直したと承知している。特に備蓄品の管理徹底が肝要で、中でも気にかかるのが食料品だ。

そこで何うが、千葉県は、備蓄食品をどのように保管しているのか。また、市町村には、どのような指導をしているのか。

管理を万全に

防災危機管理部長 県が災害用に備蓄している食料は、県内11カ所の備蓄倉庫と2カ所の民間倉庫に保管しており、常温で長期間保存できるクラッカーとアルファ化米を備蓄しています。

県の備蓄倉庫については、温度を感知して自動で動作する換気扇の設置や、毎月の保管状況の確認などにより、適切な管理に努めており、つくばエクスプレス沿線において新たに発生する交通需要に対応する重要な道路です。

り、民間倉庫でも、安全かつ品質に影響を及ぼさない状態での保管を求めているところです。

一方、市町村に対しては、避難所での食料の管理について、高温、多湿を避け、施錠できる場所での保管を示しているところですが、備蓄倉庫における保管方法についても、適切な管理を促してまいります。

千葉県や柏市へのご意見、ご要望をお寄せください

浜田ほづみ 県議

〒277-0921 柏市大津ヶ丘1-30-5 TEL.04-7193-4757